

令和6年度 生活交通確保維持改善計画の策定について(案)

1 提案理由

現行の「地域公共交通確保維持改善事業（令和 5 年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）」が、令和 5 年 9 月末をもって計画期間を終了することから、引き続き、当該事業の令和 6 年度計画に取り組むため、大槌町地域公共交通会議設置要綱第 2 条に基づき提案するもの。

2 計画の名称

大槌町地域内フィーダー系統確保維持計画（別添資料 1）

3 計画の目的

当町の地域公共交通を存続させていくため、震災後の新しいまちの形に合わせた新しい住民の暮らしを支える持続可能な公共交通（町民バス等）の確保維持改善を計画するもの。

4 目標値について

- （1）町民バス（路線バス）の収支率を 20%以上とすること。
（※直近年度(R4)の実績 12.2%）
- （2）町民バス（路線バス）の 1 便平均乗客人数（平日）を、4.0 人/便以上とすること。
（※直近(R4)の実績 3.9 人/便）

5 主な事業及び実施主体

（1）主な事業

各地区から幹線へと繋ぐフィーダー交通として金沢小鎚線を運行し、町内の医療拠点や商業拠点として幹線へと繋ぐフィーダー交通として循環線を運行している。これらの 2 路線は、大槌駅を起終点として幹線交通への接続等を行っているが、利用者のニーズに合わせた起終点の変更や、より効果的な配車及び運行を実現するために路線の再編を行う。

（2）実施主体

町、事業者

6 運行系統の概要及び運行予定者

- (1) 運行系統名：金沢小鎚線（5 系統）、循環線（1 系統）
- (2) 運行予定者：大槌地域振興株式会社

7 事業計画期間

令和 5 年 10 月 1 日（日）から令和 6 年 9 月 30 日（月）まで

8 提出先

国土交通大臣（国土交通省東北運輸局）

※国への提出資料は、別添資料 1 の通り